

広島市植物公園 見どころ案内



2026 年 9 月 10 日
通巻第 712 号

展示会のご案内

①展示資料館 (9/12～10/7)

ボタニカルアート展

②展示温室 (9/5～10/4)

秋の薬用植物とハーブ展

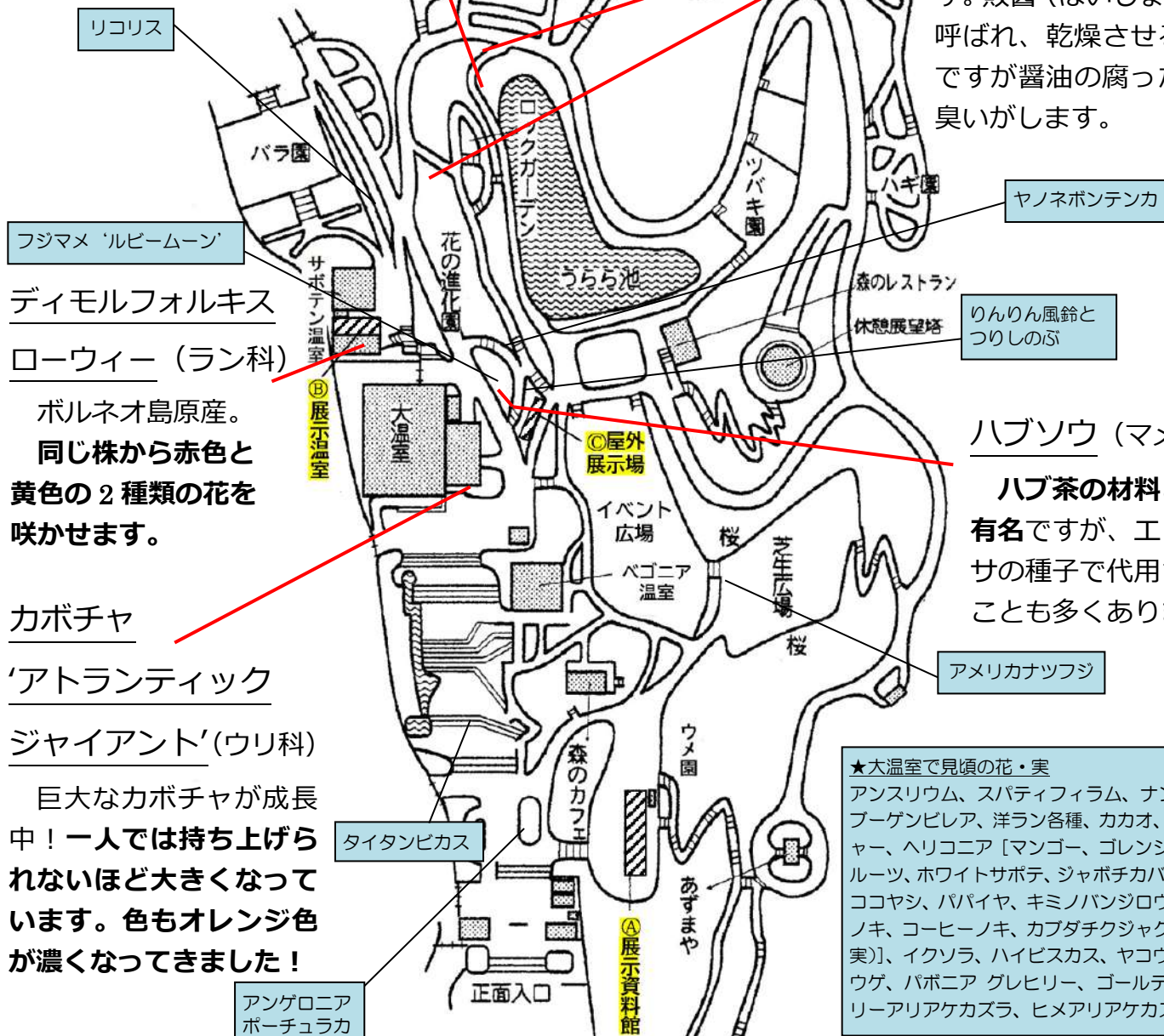
キセワタ (シソ科)

山地や丘陵の草地に生える多年草で、紅紫色の花を咲かせます。花の上部に白い毛が密生する姿を、綿を着せているように見立ててこの名前が付けられました。

オミナエシ

(オミナエシ科)

「秋の七草」のひとつです。敗醤(はいしょう)とも呼ばれ、乾燥させると僅かですが醤油の腐ったような臭いがします。



ハブソウ (マメ科)

ハブ茶の材料として有名ですが、エビスグサの種子で代用されることも多くあります。

★大温室で見頃の花・実

アンスリウム、スパティフィラム、ナンヨウザクラ、ブーゲンビリア、洋ラン各種、カカオ、トーチジンジャー、ヘリコニア [マンゴー、ゴレンシ、ジャックフルーツ、ホワイサボテ、ジャボチカバ、バナナ各種、ココヤシ、パパイヤ、キミノパンジロウ、ソーセージノキ、コーヒノキ、カブダチクジャクヤシ (以上は実)]、イクソラ、ハイビスカス、ヤコウボク、ブッソウゲ、パボニア グレヒリー、ゴールデンチェーンツリーアリアケカズラ、ヒメアリアケカズラ